

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：福祉政策課
 担当名：発達障害対策担当
 内線：3567

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	発達障害地域支援事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	発達障害者支援体制整備事業費	
事業期間	平成23年度～平成27年度	根拠法令	発達障害者支援法第5条、第6条、第13条、第23条			戦略項目	01 子育ての安心		
					分野施策	020203	障害者の自立・生活支援		
1 事業の概要	<p>発達障害児・者やその家族が地域で安心して生活していくために、発達障害に適切に対応できる人材の育成や専門職による保育所等への巡回支援を行う。また、親への支援として子育て講座を実施する。</p> <p>講師の職種により謝金に差額が生じたことによる減額、現場研修の日数減少による減額及び事務費の節減。</p> <p>(1) 発達障害児支援人材育成事業 2,809千円 巡回実施か所数が見込みを下回ったことによる減額及び事務費の節減。</p> <p>(2) 子供の発達支援巡回事業 965千円 事務費の節減。</p> <p>(3) 発達障害児親支援事業 79千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 発達障害児支援人材育成事業 22,631千円</p> <p>(ア) 市町村職員の人材育成(5月～10月) 151千円 発達支援マネージャー育成研修の実施</p> <p>(イ) 保育所・幼稚園・地域子育て支援センター職員の人材育成(6月～12月) 12,924千円 発達支援サポーター育成研修、保育所等管理職研修の実施</p> <p>(ウ) 医療・療育の専門職の人材育成(6月～12月) 9,556千円 医師、保健師、作業療法士・言語聴覚士・理学療法士・臨床心理士等を対象とした研修の実施</p> <p>イ 子供の発達支援巡回事業(4月～3月) 42,952千円 発達障害の専門的な知識を有する者が保育所・幼稚園・障害児通所施設等を巡回し、発達の気になる子供への適切な対応方法を保育士や親等に助言・指導</p> <p>ウ 発達障害児親支援事業(6月～12月) 1,893千円 親のストレスの解消法と育児のコツを学ぶ子育て応援講座を開催</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア (ア)全62市町村100人 (イ)サポーター：1,000人 管理職等：400人 (ウ)専門職研修：600人、現場研修：200人日</p> <p>イ 幼稚園、保育園等：400施設、延べ920回 障害児通所施設：20施設、延べ350回</p> <p>ウ 県内主要鉄道駅周辺で4日間講座を4か所で開催</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 市町村、保育所・幼稚園、医療・療育の専門職等による早期発見・早期支援の実施</p> <p>イ 専門職による発達障害児、親、保育士等への直接的援助による子供の症状の改善</p> <p>ウ 発達障害児を持つ親のストレス解消と親子のコミュニケーションの促進</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア、イ、ウ 社会福祉法人、専門職団体、NPO法人に一部事業委託</p> <p>(5) 減額補正の概要</p> <p>ア 講師の職種により謝金に差額が生じたことによる減額、現場研修の日数を200人日から125人日(予定)に変更したことによる委託料の減額、事務費の節減による減額</p> <p>イ 障害児通所施設の巡回実施か所数が見込みを下回ったことによる減額、事務費の節減による減額</p> <p>ウ 事務費の節減による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3.7人=35,150千円								
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	3,853							3,853	63,623
現計額	67,476							67,476	